

2021年度(令和3年度)
病院と在宅医療を担う訪問看護ステーション・福祉関係施設の相互研修
実施要項

1. 目的

地域包括ケアシステムの構築に向け、「病院完結型」の医療から地域全体で治し支える「地域完結型」の医療への転換が進む中、入院患者が安心・安全に住み慣れた地域での生活に移行するためには、病院から地域へ途切れることのないチームケアの提供体制を整備することが急務である。そのために、病院に勤務する看護職員と地域での療養を担う場の看護職員が、各々の役割を理解し他の職種と連携をとりながら、治療の場から暮らしの場へスムーズに移行するために必要なマネジメントの視点と看護の提供について相互に学ぶ。

2. 研修対象

- ①大阪府内の地域での療養を担う訪問看護ステーション・施設の看護職員(保健師、助産師含む)、ケアマネージャー、社会福祉士(以下、「看護職員等」という。)
 - ②大阪府内の医療機関(病院)に勤務し、退院調整・支援に携わる看護職員等
- ※いずれも研修全日程に参加できる方。

【注意】訪問看護ステーションの実習では、自転車に乗って訪問先に行きます。

	ステップⅠ	ステップⅡ
受講条件	研修対象者であればどなたでも申込可	ステップⅠを受講した 保健師・助産師・看護師
研修期間	全3日間 (講義2日間、見学実習1日間)	全4日間 (見学実習3日間、講義1日間)
研修日	1日目:(講義)令和4年1/22(土) 2日目:(実習)1/24(月)~2/10(木)の 期間で1日の見学実習 <u>※申込用紙にて希望伺いますが、ご希望 に添えない場合もあります。</u>	1~3日目(実習) 令和4年2/14(月)~3/4(金) の期間で3日間の見学実習 <u>※申込用紙にて希望伺いますが、ご希望 に添えない場合もあります。</u>
3日目:(講義)2/12(土)		4日目:(講義)3/5(土)
受講料	6,600円 (実習などの交通費は自己負担)	8,800円 (実習などの交通費は自己負担)
募集人数	・看護職員60名程度 ・ケアマネージャー、社会福祉士 20名程度	15名
研修場所	公益社団法人大阪府看護協会 ナーシングアート大阪 実習協力訪問看護ステーション、実習協力福祉関係施設、実習協力病院	

3. 申込方法 それぞれの申込書(ステップⅠ、ステップⅡ)に必要な事項を記入の上、返信用封筒(長3サイズ・宛名明記・84円切手貼付)を同封し下記宛にて郵送。
 ※申込書と返信用封筒はステップⅠ、ステップⅡそれぞれに1通ずつ必要です。

【送付先】〒536-0014 大阪市城東区鳴野西2-5-25 大阪府看護協会「相互研修担当者」

申込期間 2021年11月29日(月)~2021年12月15日(水) 17時必着

4. 研修概要

<ステップ I >

【研修目標】

- 1) 地域包括ケアシステムの基本的な考え方を理解し、システム構築に向けた取り組みの実際について理解する。
- 2) 地域包括ケアにかかわるさまざまな職種の役割と機能について理解する。
- 3) 地域における自施設の役割を再確認し、今後の自己の取り組みにおける課題を明確にする。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により見学実習が実施できない場合、ステップ I はオンライン演習や自己演習等に変更の可能性があります。

※時間割は変更になる場合があります

日程		内容	講師
1 日 目	9:30 ～10:00 (30分)	・本研修事業の目的と概要、地域包括ケアシステムの概要	検討中
	10:00 ～11:00 (60分)	・医療と介護・地域をつなぐ連携の実際（地域医療連携センターの立場から）	病院の地域医療連携部や退院調整にかかわる部署の方
	11:10～ ～12:00 (50分)	・医療ソーシャルワーカーの役割 医療保健と介護保健制度について	医療ソーシャルワーカー
	12:00 ～13:00	昼休憩	
	13:00 ～14:00 (60分)	・医療と介護・地域をつなぐ連携の実際・ケアマネージャーの役割	ケアマネージャー
	14:10 ～15:10 (60分)	・医療と介護・地域をつなぐ連携の実際（訪問看護ステーションの立場から）	訪問看護ステーション管理者
	15:20 ～16:30 (50分)	・医療と介護・地域をつなぐ連携の実際（看護小規模多機能型居宅介護施設の立場から）	看護小規模多機能型居宅介護施設の看護管理者
2 日 目	実習施設の勤務時間	【見学実習】 ・病院所属の方→訪問看護ステーションに実習 ・病院以外の所属の方→病院の地域連携室等に実習	各実習施設の指導者
3 日 目	9:30 ～12:30	【グループワーク】 ・地域における自施設の役割と自己の役割、今後の課題を明確にする。 ①グループ毎にメンバー自己紹介 1グループ6名編成、7～8グループ ②役割分担（進行1名・書記2名等） ③個々に、研修講義や実習をとおしての気づきや感じたこと、日々の実践の中で疑問に思うことや課題に思っていることについてふせん紙に簡潔記入する。 ④ふせん紙に書いたことをグループ内で共有する。 ⑤共有した情報から、疑問や課題としてあげられたことについて、考えられる対策、解決策	【ファシリテーター】訪問看護ステーションの管理者、地域連携室等の管理者等 2～3名

		<p>等を話しあう。 時間内で全て話しあえない可能性もあるため、時間を見て、話しあう内容を相談しても構わない。</p> <p>⑥グループワークで共有した内容・取り組んだことを発表できるよう資料を作成する。(A4用紙両面2枚程度)</p> <p>※各グループにパソコン1台準備、USBで資料データを保存⇒印刷へ</p> <p>※12:30まで発表原稿を運営担当まで提出する。</p>	
	13:30 ～14:30	<p>【グループ発表】</p> <p>・1グループ7～8分程度で発表。</p>	
	14:30 ～14:50	全体質疑応答・意見交換	
	14:50～ 15:00	休憩	
	15:00 ～16:30	<p>まとめの講義</p> <p>「仮）医療と介護・地域をつなぐ連携の実際～豊かに生きることを支えるために～」</p>	病院の地域医療科の管理者(医師)

<ステップⅡ>

【研修目標】

- 1)ステップⅠでの学びをふまえて、地域での療養環境をマネジメントする際に必要となる考え方や姿勢、方法を学ぶ。
- 2)退院支援・調整における、今後の自己の役割、課題を明確にする。

※ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により見学実習が実施できない場合、ステップⅡ研修は全て中止となります。

日程	内容	指導者・講師
1日目	・訪問看護ステーションもしくは病院施設にて3日間実習	各実習施設の指導者
2日目		
3日目		
4日目	<p>「実習での体験を振り返り、退院支援・調整における今後の自己の役割・課題を明確にする」</p> <p>①「実習での体験・経験」「退院支援・調整における今後の自己の役割や課題」について、思いつくことを各自1枚のふせんにもとに、キーワードでもいいので書く。</p> <p>②①のふせんをもとに、グループ内で共有する。</p> <p>③全体共有。グループ毎に共有した内容を共有する。</p> <p>④講師よりまとめ</p>	<p>・病院で退院調整担当等を行っている管理者の方</p> <p>・訪問看護ステーションの管理者の方</p>

5. その他

- ・この研修に係る修了証は発行いたしません。
- ・実習場所や日時の指定など個別のご希望には対応できませんのでご了承ください。